

こども文化センター 施設情報

住所 〒554-0012 大阪市此花区西九条6-1-20(クレオ大阪西内)

TEL 06-6460-7800 **FAX** 06-6460-9630

HP <https://www.ko-bun.jp>



開館時間 9:00～21:30

休館日 月曜日(国民の休日の場合は翌日)、年末年始

*館内には、日常的に利用できるフリースペースはありません。
1Fのクレオ大阪西・情報図書コーナーで、絵本等を読んだり、借りることはできます。
(貸出には「クレオ大阪」の図書カードが必要です)
*その他設備については、P5～6もご覧ください。

アクセス JR環状線・阪神なんば線「西九条」駅より徒歩約5分

*ご来場には公共交通機関をご利用ください。



みんな、
まってるよ～!

2021年3月発行

(内容は2019～2020年度実施分を中心に掲載)

発行元 大阪市立こども文化センター

指定管理者: クレオ大阪西・こども文化センター共同事業体

構成企業: 一般財団法人 大阪市男女共同参画のまち創生協会・一般財団法人大阪教育文化振興財団・サントリーパブリシティサービス株式会社・グローブシップ株式会社

大阪市立

こども 文化 センター

事業案内

るるるるガイド



はじめてをおうえんする、劇場。

こども文化センターは、一年を通じて多くのイベント・プログラムを開催しています。メインとなる会場は、どの席からも舞台が近く、あたたかい雰囲気が自慢の「劇場」。「生の舞台芸術を子ども達に」というテーマのもと、4つの「る」をキーワードに、幅広いプログラムを行っています。

子ども達がワクワクするものと出会うとき、一歩踏み出す勇気を出したいとき、その背中をそっと押せる存在になりたい—それぞれの“はじめてを応援する”場、それがこども文化センターです。

(ホール定員：386席)



◆何をしている施設なの？

子ども達が人間性豊かに育つことを願い、1979年(昭和54年)1月に開館した大阪市立こども文化センター。「生の舞台芸術を通じて子ども達に生きる力を」という、設立当初からの理念を引き継ぎ、舞台芸術の「鑑賞・体験・発表」をキーワードに、赤ちゃんから中学生まで、幅広い年齢に向けた、さまざまなプログラムを展開しています。(ホールでの鑑賞事業、舞台での発表事業、教室・講座等の創造事業、地域の文化活動に携わっている団体やグループとの交流・協働事業など)

◆市民の思いが集まり生まれた、土台となった施設のはなし。

戦後の荒廃した社会において、次代を担う子ども達が健やかに育つことを願い、1951年(昭和26年)に宣言された「児童憲章」で示された理念の実現に向けて、大阪市では、市民の「児童文化募金」からの寄付を受けて1955年(昭和30年)に施設を設立。これが、こども文化センターの前身である「大阪市立児童文化会館」です。

ホー ル



さあ、きみはなにする？

どんなことをやっているのか、
みにいってみよう!

こども文化センターガイド

みるみるみる

「みる」ことを楽しむ！
音楽会、人形劇、など
“生”の舞台の醍醐味を♪



- こども劇場 ●こども広場
- 春のこども文化まつり
- こども芸術劇場 など

P.3へGO!

やってみる

「やってみる」楽しさを体験！舞台芸術に初チャレンジ♪



- こども教室(ミュージカル教室、ブラスバンド教室、こども詩の会)など
- スタッフボランティア(大人対象)など

P.9へGO!

でてみる

「出る」よろこびを味わう！日ごろの成果発表の場♪



- こども文化フェスティバル
- こども演劇フェスティバル など

P.11へGO!

こども劇場

生の舞台芸術(人形劇・演劇・音楽・影絵・伝統芸能など)や映画を鑑賞するイベント。ファミリーを主な対象に、音響・照明などの舞台設備が整ったホールで開催しています。

開催情報 月1~2回

生の迫力を体験できる!

いつも新鮮!幅広いプログラム

0歳から入れるコンサート、想像力をはばたかせて楽しむ人形劇・演劇公演、時の流れに色あせない力強さを体感できる伝統芸能、大道芸やジャンルレスなパフォーマンス公演など、ひとつのジャンルに偏らない、幅広いラインナップ! 毎月のお届けにもぴったりです。



※2020年度以前の出演者も含まれています (その他の写真については2019年以前のものです)

もちろん、本格的。



出演者はプロのみ。多くのことを吸収することも時代だからこそ、本物にふれてほしい。また、クオリティはもちろんのこと、お子さま自身が楽しみ、親しめるプログラムを厳選してお届けしています!

お子さまと思い出共有。



こどもだけが楽しくて、大人は退屈? いえ、一緒に楽しめるのがこども劇場の魅力。行き帰りのお子さまとの会話も、公演とセットの思い出に。「今日はどんな舞台かなあ?」「あの場面が面白かった!」飛び出す表情や感想に「うちの子にこんな面があったなんて!」と驚くかも。

生の舞台って、何がいの?



非日常の時間を過ごせるのが劇場の魅力のひとつ。舞台上で繰り広げられる世界により深く入り込めるよう、工夫がちりばめられています。限られた空間の中で出演者が発するパワー、効果的に見せる音響・照明・装置、そのすべてが舞台の密度をギュッと高めて、客席に届けます。感覚が刺激され感情が目まぐるしく動き出す快さは、感性豊かなこども時代にぜひ経験してほしいひととき。

映画上映会 無料

年齢制限なしでどなたでもどうぞ! 幼児から楽しめる短めの作品、小学生ぐらいの年代が楽しめる物語性のある作品など、特定の年代に偏らないラインナップです。また平日の午前に赤ちゃん連れで楽しめる「赤ちゃんと一緒に」シリーズは、子育て中のリフレッシュになる! と好評です。

大きすぎない音量など、映画もデビューの場にふさわしい工夫をしています!

自分がこどもの頃好きだった作品をこどもにも見せたいと連れてこられることも!

お客様の声

- こどもなりに心が動いた様子を見られて嬉しかったです。これからも音楽に触れる体験をさせてあげたい。
- 音響、ライト、全てがこども向け。過ごしやすかったです。
- 生の舞台の迫力を味わえました。孫もよく見ていました。楽しかったです。
- 長時間もつかない? と思いましたが、最後まで、集中して、一生懸命見ていました。

スタッフの声

- 劇場に来た子ども達に「楽しかった!」って言うてもらえるかな? 「こども劇場」のラインナップは、すべてスタッフ自身が「グッ」と来たものを選んでいきます。楽しい気持ちになったり、なんだか心に残るメッセージを感じたり...新しい物語や世界に触れることで、子ども達の中に好きなこと、やりたいことが増えるきっかけのひとつになれば、と、ジャンル問わず、普遍的なテーマが感じられるあたたかい内容の作品を中心にお届けしています。

次のページもみてみてね!



「幼い子にもきちんと舞台をみせてあげたい」「うちの子、うるさくしてしまわないかな」子連れのおでかけは不安が尽きないもの。だから…

ハラハラがウキウキに変わるサービス、あります。

駅から近い

玄関スロープやエレベーターもあるから安心ね



JR環状線・阪神なんば線「西九条」駅より徒歩約5分で到着！
駅にエレベーターもあります！…JR:改札を出て左側/阪神:西改札口を出て、JR乗換通路を通り、JRのエレベーターを利用

お手頃価格



多くの子ども達が生の舞台に出会えるよう、こども500円、おとな1000円とリーズナブルな設定。
※無料の公演もあり

発券は当日



席数のみ予約し、支払と座席券受け取りは当日の公演がほとんど。(例外イベントもあります)
予定が変わりやすい子育て家庭に嬉しい！

ごきげん直せるスペースも



お子さまが舞台をスムーズに楽しめない日もあるかもしれません。そんな時は、客席後方のガラス張りのスペースで、舞台を観ながら少しお休みすることもできます。

多目的トイレ



客席入り口の近くに多目的トイレを設置しています。車イスの方を中心に、譲り合ってください。

車イススペース



限られたスペースのため、申込先着順で受付しています。介助の方1名は隣にパイプイスでお座りいただけます。

ベビーカーあずかります



受付でお預かりし、預かり札をお渡しします。スペースが限られているので、折りたたみにご協力をお願いします。

授乳スペースおむつ台



客席とは別の場所に、授乳スペースをご用意しています。また男女トイレともにおむつ台を完備(おむつごみはお持ち帰りください)。幼児用便座もあります！

年齢制限のある公演では一時保育あり



例えば「3歳以上」が対象の公演の場合、1歳～2歳11か月のお子さまの一時保育を実施しています。事前に申込が必要です。

※安全上、1歳未満のお子さまはお預かりできません。
※申込方法はお問い合わせください。

安心の環境



子ども達が安心して舞台を楽しめるように、上演中は客席の明かりを少しつけ、真っ暗にならない工夫をしています。また、1時間以上の公演になる場合は途中休憩を10～15分はさんでいます。

※影絵など真っ暗になる場合は、広報などでお知らせしています。

「こども劇場」申込方法 ※例外として、前売チケット制の公演もあります。

- (1)インターネットで申込
 - (2)往復ハガキ または FAXで申込
 - (3)こども文化センター1階受付にて直接申込
- 記載事項は公演ごとに異なります。

お子さま(中学生未満)だけの入場はご遠慮いただいております。

こども劇場は、お子さまの鑑賞体験はもちろん、おとなの方がお子さまと体験や記憶を共有していただく場です。また、多くのご来場があるイベントですので、お子さまの安全確保のために、保護者の同伴をお願いしています。

みんなで観るときの約束「おおきいしあわせ」

お静かに
上演中は
お口チャック



楽しくてお話ししたくなっても少しがまん。周りの人の「みる」をじゃましないよう、終わってから話そう！

思い出を
撮るのはこころの
シャッターで



楽しいことは記憶に残したくなるけど、撮影や録画はできません。生でみる時間を楽しんで心に残しておこう！

客席で
食べたり飲んだり
しないでね



客席をよごさないため、他の人が音やにおいでいやな気分にならないためご協力をお願いします。

いけないよ
舞台上に勝手に
上がっては



舞台は、神聖な場所。色々な装置があって危険な場所でもあるよ。勝手に物を置いたり、上がったりしないでね。

知ってるかい？
イスの正しい
座り方



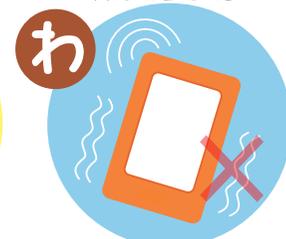
前の席をけると音が響きます。前のめりになると、後ろの人が見えません。背もたれに背中をつけて座ろうね。

危ないよ
走って誰かと
ごっつんこ



ぶつかってケガをする大変！客席やロビーでは歩いてね。保護者の方は目を離さないようにお願いします。

忘れてない？
携帯電話は
切ったかな



上演中は画面の光や、マナーモードの音も想像以上に目立ちます。みんなで楽しくみるために、電源はオフ！

席に着き
帽子は脱いで
膝の上



帽子の影で、後ろの人が舞台をみづらくなってしまうので、特別な理由がない場合、客席では脱ぎましょう！

みてみ

3

こども広場



個性豊かなアマチュアグループが月替わりで登場！人形劇・腹話術・手品・紙芝居・歌などが楽しめる、60分程度の公演です。

開催情報 月1回

劇場に行くのはまだ早いな…？というおともだちにもぴったり♪



マット敷きのお部屋で安心

靴を脱いで、ゆったり。明かりを消さないで、安心。身構えることなく、おうちの延長のような感覚で鑑賞していただけます。

家族一緒に座れるよ



「好き」の扉が開くかも…？

プログラムは、短いお話と、手遊びなどを組み合わせで上演します。1つ1つが短めなので飽きにくく、一度で多くの作品を観られるお得さも！出演者が毎月違うので、新しいお話や歌、手遊びと出会うチャンスもいっぱい！



こどもはお任せ！ベテラン揃い

出演者は、長年、地域や図書館で活動しているグループばかりです。子ども達に喜んでもらえたら嬉しい！という想いに満ちた、あたたかい舞台をお届けしています。



みてみ

3

春のこども文化まつり



開催情報 年1回(2月末~3月)

「こども広場」に出演しているグループによるプログラムが次々に楽しめる、年に一度のおまつり。ファミリーで気軽に一日楽しめるイベントです。

※大阪市こども文化協会とこども文化センターが協力して開催しています。



ジャンルもさまざま♪

主催：大阪市こども文化協会

「人形劇・紙芝居・音楽などあらゆる芸術文化を子ども達に」を合言葉に「ふれて・聞いて・遊んで体感する」こども芸術文化の振興を目指して活動しています。春のこども文化まつりでは主催者として、センターと一緒に運営しています。こども広場出演グループのメンバーも多数在籍中。



みてみ

3

こども芸術劇場

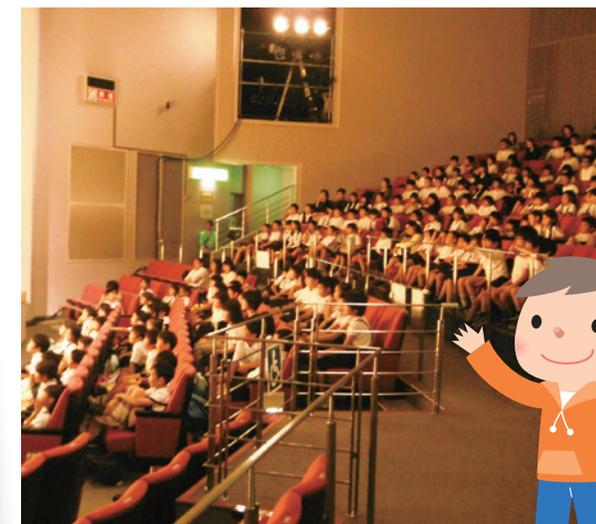


開催情報

夏(小学校)
秋(幼稚園・保育所/園)
※参加方法はお問合せください

団体(小学校、幼稚園・保育所・保育園単位)の芸術鑑賞会。本格的な音響・照明等を使う「劇場」ならではの舞台公演は、子ども達が舞台芸術に触れる貴重な体験の機会として、多くの学校園に参加いただいています。

「友達」と観る体験。



普段みたことのないものを、友達と観る。それは一生に一度のかけがえのない体験になるかもしれません。



※P8の写真は2019年度以前のもので

こども教室

“すき”をみつけて“すき”を深める、「こども教室」。すべての教室が未経験からOK！こども自身の「やってみたい」気持ちを応援します。自宅や学校とは違う場所で思い切り自分を表現する楽しさ、一人では味わえない、みんなで作る面白さ、多くの人の前で発表する達成感など、かけがえのない喜びを知ることは、子ども達の新たな可能性を開いてくれるきっかけになるかもしれません。

ミュージカル教室



舞台発表に必要な技術はもちろん、感情や気持ちの流れ、チームワークの大切さも学びながら舞台発表を目指します。春に行う初心者対象の短期教室(プチ)、夏休み期間中の教室、夏の参加者から希望者を募って年度末の発表を目指す教室があります。

- ミュージカルは一人では作れません。相手を尊重し、力を合わせることを体験で学び、心の成長に繋がります。
- 小3~中3対象なので、異年齢の子ども達と交流できるのも魅力！
- 上演台本は講師のオリジナル！レッスンを通して見えてくる子ども達の特徴をとらえて設定を考え、子ども達に伝えたいテーマで書きおろします。

粋からハミ出した部分こそが個性！



はねひろし
講師:羽根 博司
(元 劇団四季 俳優)



開催情報 ミュージカルプチ...5月 ミュージカル教室...7~8月 ミュージカル教室2...11月~3月

ブラスバンド教室



楽器に息を吹き込むことで、自分の気持ちを音で表現できるのがブラスバンドの魅力！自分ひとりで鳴らすだけでなく、みんなでひとつの音楽を作るよろこびを体験できる教室です。

- 対象は小4~中3。幅広い年齢の子ども達が舞台での発表を目指して一緒に取り組みます。
- 全ての楽器に専任の講師が付いて指導するので、未経験者でも安心して始めることができます。



こんな楽器を演奏できます！

- フルート トランペット クラリネット
 - トロンボーン サックス 打楽器
- (楽器提供:大阪市こども文化協会)

基本から丁寧に
レッスンします

たなか
田中めぐみ(打楽器担当/主任講師)

開催情報 6月~3月の土曜日・午後(月2回程度)

こども詩の会



毎月1回、こどもが作った詩や、暮らしの中で保護者が書きとめたこどものつぶやきを、音読して発表し合う会。指導員の小学校教員の皆さんが講評します。こども文化センター設立の30年以上前から続いており、令和2年度には70周年を迎えました。

『正直に・飾らずに・簡潔に』創始者の詩人竹中郁・坂本遼の遺志を受け継いで丸90年。月に1度、こども達が体験や感動を詩で表現し、発表し合う。「よく見て、よく聞いて」書く。人前で発表する。確かな暮らしの創造と生きる力の育成が「こども詩の会」のねらい。毎月集まった皆さんと、ぬくもりを分かち合っています。

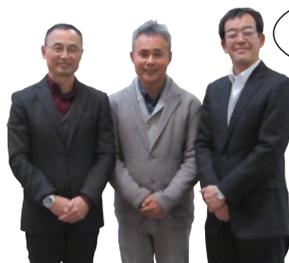
まだようちえんやから
A 二年 川上 しゅんじ
B 年長 かちみ ちはる
かずをかぞえましよう
A ひろつ ふたつ みつ つよつ つつ
A ちよつとまつて「よつ」じゃなくて
「いつ」だよ
B まだようちえんやから
A しょうがなない
B しょうがなない
1年生になつたら「いつ」つて
ゆうようになつてね
B はーい

なゆちゃんへ
おひいちゃんの
おはあちゃんの
よしたかおちゃんの
おとしだまぶくろのつら
なゆちゃんへ、つてなに？
ときいたら
三人とも
わらわれちゃった

(評)なんとたのしい会話でしょう。妹に対するお兄ちゃんの愛情があふれています。しっかりものの妹の成長が楽しみです。

(評)ひらがなをマスターしたばかりの一年生。「へ」は、どう見ても、「へ」じゃないよね。「べ」だよ。

皆でぬくもりを
分かち合っています



指導者(写真左から):
いまい ましゆき ほしもと まさかつ
今井 美之 橋本 正勝
いぬい まさと
乾 公人(小学校教員)

開催情報 月1回(土曜・午後) 申込不要

~こども詩の会、70年の歴史をご紹介します！~



貴重な初期の詩集！竹中郁追悼号(第7集)、350回記念号(第8集)、35周年記念号(第9集)、500回記念号(第21集)など。



創始者・竹中郁の三回忌に、有志によって発行された詩集「子ども闘牛士」(1984年)。表紙の絵は第7集・竹中郁追悼号の表紙を飾り、センターに寄贈されました。



1988年12月発行の「教育大阪」。この頃、目次の次ページにこども詩が掲載されていました！



左:第33回読売教育賞受賞の際発行された「こども詩の会」の実践活動をまとめたもの(1986年)/右:児童詩の作り方について指導者向けに書かれたもの(1991年)

「こども詩の会」創始者 竹中 郁のことば

- 「ことばという道具を使って、自分自身を紙の上へぶつけることは、やがて大人になったときに役立つのです。そのために詩を書く勉強をします。」
- 「おおいの人の中で、自分だけで生きていくのではない、いっしょに生きていくのだ、という心掛けを養うのにこの勉強が役立つのです。」
- (こども詩の会詩集 第8集 巻頭のことば)



最新号!
こども詩の会70周年記念号
(第45集)

その他教室について

そのほか、年度ごとに内容の違う教室を開催することもお楽しみに！

※P9-10の写真は2019年度以前のもも含まれています

大阪市こども文化 フェスティバル



練習の成果、大爆発!



幅広いジャンルのプログラムがそろいます!



開催情報

8月下旬 観覧は申込不要・入場無料。
※例年4~5月頃に出演団体を公募します。

目標があることで、もっと頑張れる、楽しくなる!大阪市内で活動中の、子ども達による団体を公募し、日々の成果を披露しあう合同発表会。子ども達が舞台発表を通じて成長する絶好の機会として、指導者・保護者の方にも毎年大好評のイベントです。

- よろこびが何倍にもなる「設備の整った舞台で観客の前で表現する体験」は、貴重な機会!
- プロの舞台スタッフが音響照明を担当し、ホールならではの本格的な演出でサポートします。
- 事前に打合せやリハーサルを行うので、初参加でも安心。
- 当日は、子ども達の熱演に、客席もパワーをいっぱいもらいます!



大阪市こども演劇 フェスティバル



他のチームの発表を観るのも楽しみ!

主催:大阪市小学校学校劇と話し方研究会

1982年(昭和57年)7月1日に活動開始。学校劇と話し方を中心とする表現活動を通して、小学校における教育活動をより効果的にするため、児童文化の研究を推進することを目的としています。



大阪市内の小学校を中心に、演劇クラブなどの活動をしている子ども達による発表の場。本番を目標に練習を重ね、成長した姿を、ホールの舞台上で発表することを目指します。

- 当日は発表を鑑賞しあい、他団体から刺激を受けて、次の活動に繋がります。
- 主催者の、小学校の先生方とともに「国語学習、特別活動等における表現活動の場、演劇等の学習を通し、豊かな心を育てる」ことを目指し、センター開館時(1979年)より継続開催している、歴史あるイベントです。



開催情報

2月 観覧は申込不要・入場無料。
出演に関してはお問い合わせください。



スタッフボランティア

センターの理念に共感し集まったメンバーが、ホールでのイベント当日、誘導やベビーカー預かりなどのお客様対応に従事し、イベント運営をサポートしています。言うなれば、センターの縁の下の力持ち!

幅広い年代の方が活躍中!



子ども達の笑顔に元気をもらっています



「支える」ことにやりがいを感じます

- 子ども達やファミリーの皆様にとって安心・安全・快適な場にするのが喜びです!
- 登録の際は、公立施設でのイベント対応や接客についての研修があります。
- 月に1~2回、参加可能な時のみの活動なので、無理なく続けられます。

開催情報 月1~2回

※活動は年度ごとの更新制



人形劇はじめま専科

~喜ばれることが喜びになる!未経験からやってみよう~

基礎から実演までをプロに教えてもらい、成果発表を経て、修了後は実演グループとしての活動を目指す講座です。

- 子ども達の喜ぶ顔が、自分の喜びになる—自分自身の生きがい、社会に関わるやりがいを感じられる活動に繋がるきっかけになるかも!?
- 修了後は、有志を募りグループを結成。センター所属グループとして活動します。自立まではセンターもサポート!

対象:こども向けのレクリエーション技術を身につけたい大人の方(未経験者対象)



2019年度成果発表会より



開催情報 秋頃

※開催しない年度もあり

修了生有志
自主活動中!

ひがしぐちつと
講師:東口次登
(人形劇団クラルテ)

レベルアップ講習

ベテラングループも、最初は人形劇講座の卒業生でした!

「こども広場」などに出演しているセンター所属のアマチュアグループが、実演家のプロから指導を受けて、技術のレベルアップを目指す機会を、センターがサポートしています。



協働事業

市内の様々な団体との協働事業を開催しています。

- 春秋 大阪市中学校総合体育大会ダンスの部
- 秋 大阪市こども育成連合会鼓笛隊発表会
- 秋 ハピネスふれあい音楽祭inこの花
- 冬 OSAKAスマホサミット
- 冬 高校生のための照明技術講習会
- 冬 大阪市立高等学校芸術祭 演劇の部
- 春 フレンドシップコンサート

2020年度実施事業レポート

子ども劇場

ホール天井改修工が始まるまでの4~7月は子ども文化センターのホールで開催予定だった子ども劇場。緊急事態宣言が4月に発出された影響で残念ながら中止となりました。工事期間中は、センターとしても史上初の出張公演！10月はクレオ大阪中央、11月~3月はクレオ大阪東で開催しました。マリンバ×和太鼓、台所楽器、ピアノとサクソフォンによる音楽と防災のお話などバラエティ豊かなコンサートのほか、民族芸能の公演を開催。客席は定員を減らし、できるだけお客様に安心して楽しんでもらえるよう、急入りにコロナ対策をとって実施しました。短い時間ではありますが、子連れで楽しめた、こういう場所があって嬉しい、というお声をたくさんいただきました。



スタッフボランティア

長年活躍中のメンバーたちがアルバイトスタッフと協力して運営をサポート！毎公演心を込めてお客様をお迎えしました。



コロナ対策について

今後もしばらくは、さまざまな制約を設けての開催となるのが予想されますが、子ども達が芸術文化に触れることが出来る「劇場」として、少しでも楽しいひとときを過ごしてもらえような場所であり続けられるよう、引き続き安全に留意しながらお待ちしております！



スタッフの標準装備です！

★主にこんな対策をしていました★

- ・ 適時、会場の消毒や換気を行う
- ・ 舞台までの距離を保つため、最前列席を使わない、または距離を開ける
- ・ 受付はアクリル板の仕切りを使用し、スタッフはマスク・フェイスシールド・手袋を着用する
- ・ すべてのスタッフに安全管理の事前ミーティングを行う
- ・ 来場者には検温を実施し、マスクの着用をお願いする

子ども広場

8月より再開。固定席はないため、これまで全面マット敷きだった設えを、家族ごとの「島」にして、無理なくディスプレイを確保できるように変更。マスク着用など出演側にもさまざまな制約がある中のイベントとなりましたが、こんな時期だから子ども達に楽しんでほしい、という出演者の気持ちがいっぱい詰まった公演となりました。



レベルアップ講習

上演の日に向けて切磋琢磨しておきたい！と、人形劇グループなどが、プロの指導のもと、スキルアップに励みました。

ミュージカル教室

定員数が限られ例年よりも少人数でのミュージカルとなりましたが、学校や家とは違う場所でのびのびと楽しむ子ども達の姿にこちらもパワーをもらいました。夏の教室から有志を募り、11月から2月までは長いセリフがたくさんある台本にも挑戦。例年ホールで実施している発表会は、今年は練習しているお部屋での実施となりましたが、無事、最後に保護者の皆様に観覧いただくことができました。



協働事業

様々な団体との協働事業についても、今年度は一部は中止、一部は他館での開催となりました。子ども達の発表の場が途切れず設けられたことへの喜びの声もいただきました。

開催を取りやめた事業について

もともとホール天井改修工事日程が定められていたため、予め開催が決まっていた事業(子ども文化フェスティバル、 brassバンド教室など)のほか、コロナ禍の影響で開催中止を決定した事業(子ども芸術劇場、春の子ども文化まつり、子ども演劇フェスティバルなど)があります。

2020年度実施事業一覧

み3 鑑賞事業/子ども劇場

ジャンル	タイトル(出演者)	会場	開催日	参加者数
映画	リトル・アインシュタイン<日本語吹替版> 赤		4/9(木)※	—
映画	塔の上のラプンツェル<日本語吹替版>		4/19(日)※	—
映画	千と千尋の神隠し		5/6(水・祝)※	—
人形劇	とどろけ淵のメツケ(人形劇団京芸)		6/14(日)※	—
音楽	夏休みファミリーコンサート(オオサカ・シオン・ウインド・オーケストラ)		7/19(日)※	—
音楽	マリンバアンサンブル「ま〜る」のみんなでわくわく音楽会♪(マリンバアンサンブル「ま〜る」、ゲスト) 夕田敬博	◆	10/18(日)	69名
伝統芸能	伝統芸能「おまつり彩景〜民族芸能アンサンブル若劇」(民族芸能アンサンブル若劇)	◆	11/22(日)	29名
音楽	クリスマスコンサート(ハイブールカルテット、大槻温子)	◆	12/13(日)	157名
音楽	アンサンブル・レネットの音楽会♪(アンサンブル・レネット)	◆	1/11(月・祝)	150名
音楽	ラララきらきらコンサート〜震災を忘れない〜(Lien)	◆	3/13(土)	117名
			5公演のべ	522名

赤 赤ちゃんと一緒に「シリーズ」 *大阪市子ども文化協会との共催事業は不開催

み3 子ども団体鑑賞事業/子ども芸術劇場

対象	ジャンル	演目(出演者)	会場	開催日	参加者数
小学校	人形劇	とどろけ淵のメツケ(人形劇団京芸)		6/11(木)、12(金)※	—
幼稚園・保育所/園	未定	未定	◆	10月※	—

み3 連携・交流事業(ボランティアによる鑑賞事業)/子ども広場

出演グループ	ジャンル	開催日	参加者数
ぐるーぶぬ!	人形劇、腹話術 ほか	4/12(日)※	—
さっちゃん	手遊び、エプロンシアター、人形劇 ほか	5/10(日)※	—
人形劇グループ あんころもち	人形劇、音楽人形劇、ペープサート ほか	7/5(日)※	—
グループ ケロちゃん	手遊び、エプロンシアター、人形劇 ほか	8/10(月・祝)	22名
さっちゃん	人形劇、エプロンシアター ほか	9/12(土)	13名
人形劇とおはなしのふっ	人形劇、手あそび、紙あそび ほか	10/4(日)	13名
人形劇グループ ポレポレマカロン	腹話術、パネルシアター、手あそび、手品、音楽劇 ほか	11/7(土)	10名
お話サークル くまの子	人形劇、ブラックライト人形劇、パネルシアター ほか	12/6(日)	17名
人形劇サークル ぽっぽ(ゲスト) さっちゃん	人形劇、ペーパーシアター ほか	1/16(土)	17名
さくらんぼ	うた、ピアノデュオ、おはなし ほか	3/6(土) (2/7振替公演)	7名
ぐるーぶぬ!	人形劇、組木、パネルシアター ほか	3/27(土) 午前	発行時未定
みおつくし会	大型紙芝居、手品、手あそび ほか	3/27(土) 午後	発行時未定
		3/6までのべ	99名

センターのあゆみ

昭和30年11月	児童文化会館 開館(北区) *市民からの寄付で設立。小さいながらも、図書館やホールを備えていました。	平成22年 3月	事業案内冊子「るるるるガイド」発行 *平成21年度以降、毎年発行しています。
昭和53年10月	子ども文化センター設立準備のため、児童文化会館開館	平成24年 3月	子ども劇場 演劇「ワラシ〜秘密基地に棲む妖怪〜」上演 (共催・全国児童・青少年演劇協議会 関西ブロック) *以降、毎年3月に「震災を忘れない」をテーマにした公演を開催しています。
昭和54年 1月	子ども文化センター(西区) *こけらおとし公演では文案「三番壱」が上演されました。 第一回子ども劇場 開催	平成25年 4月	指定管理第2期 開始※指定管理者は第1期に同じ
	8月 第1回子どもフェスティバル(現・大阪市子ども文化フェスティバル) 開催	平成27年 4月	指定管理第3期 開始※指定管理者は第1期に同じ
	11月 第1回子ども演劇フェスティバル 開催	平成28年 3月	移転記念イベント「にぶんサンクスカーニバル〜37年間ありがとう〜」開催 *西区の施設開館を前に、集大成となるイベントを開催しました。
昭和55年 4月	brassバンドクラブ 発定	3月末日	子ども文化センター(西区) 開館
昭和56年 4月	大阪市子ども文化協会 発定	4月	クレオ大阪西(大阪市立男女共同参画センター(西部館)へ移転 クレオ大阪西・子ども文化センター(此花区) 営業開始 *複合施設として新たに生まれ変わりました。
昭和59年 1月	開館5周年記念誌「未来に翔ける」発行		指定管理第4期 開始 指定管理者:クレオ大阪西・子ども文化センター共同事業体 (構成企業:一般財団法人 大阪市男女共同参画のまち創生協会・一般財団法人 大阪教育文化振興財団・サントリーパブリシティサービス株式会社・グロースシップ株式会社)
平成元年 3月	開館10周年記念誌「創る」発行	5月	クレオ大阪西・子ども文化センター「開館おひろめイベント」開催
平成 5年 4月	土曜子ども広場(現・子ども広場) 開始 *学校週5日制実施にともない始められました。	平成30年 1月	開館40周年を迎える
	10月 開館15周年記念誌「遊」発行	11月	開館40周年記念公演「スーパーキッズ・オーケストラ」開催
平成 6年 8月	戦後50周年記念事業「アライング・ピース・フェスティバル(平和を願う子どものまつり)」開催		
平成10年 8月	開館20周年記念誌「心輝く」発行		
平成16年 1月	開館25周年記念事業 *劇作家・平田オリザさんと人形劇団クララテ・松本剛子さんの講演会を開催しました。		
平成21年 4月	指定管理者制度に移行(第1期) (指定管理者:財団法人大阪市教育振興公社・SPS[サントリーパブリシティサービス(株)]共同事業体)	令和2年 4月	指定管理第5期 開始※指定管理者は第4期に同じ

*各社の名称は当時

★指定管理者制度…多様化する住民ニーズにより効果的・効率的に対応するため、公の施設の管理に民間の能力を活用しつつ、住民サービスの向上と経費の節減等を図ることを目的として導入された制度のこと。

- ※マークがある事業については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催中止となりました。
- 子ども文化センターホール天井改修工事のため、7月以降のホール事業は他館で開催しました。
- ◆…クレオ大阪中央 ◆…クレオ大阪東 ◆…クレオ大阪南 (マークのないものは子ども文化センターで開催)

み3 連携・交流事業/春の子ども文化まつり*

やってみる 子ども教室

教室名	講師	開催日	受講者数
週末チャレンジ! 子どもミュージカルクラブ	羽根博司	5月※	—
ミュージカル教室	羽根博司、 糸永真衣香	8月	11名
ミュージカル教室2	羽根博司	10月~2月	上記のうち7名
子ども詩の会	橋本正勝、 乾公人、今井美之	7月~3月 *4~6月は中止	のべ244名 (おとな170名、子ども74名)

やってみる 人材養成・交流・協働事業

事業名	講師	開催日	参加者数
スタッフボランティア	—	10月~3月 *4~7月は中止	のべ12名 (登録17名)
レベルアップ講習	上田ほんた、 神門康子 ほか	6月~3月	7グループ20名

やってみる 発表事業 大阪市子ども演劇フェスティバル*

そのほか 協働事業

事業名	会場	開催日
大阪市中学校総合体育大会ダンスの部(春)		6/7(日)※
大阪市中学校総合体育大会ダンスの部(秋)	◆	9/27(日)
高校生のための照明技術講習会	◆	12/25(金)、 1/16(土)
出張!!サバイバル☆キッズプチ西九条		1/24(日)
第40回大阪市立高等学校芸術祭 演劇の部	◆	1/30(土)、 1/31(日)
第14回フレンドシップコンサート	◆	3/27(土)